

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本日産自動車株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営ビジョンを明文化し会社のあるべき姿を従業員に説明・共有している。								8	9											17																			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンスの重要性を説くべく定期的な研修・教育を行っている。																				16																			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引先を尊重し相互信頼に基づく共生共存と公正な取引維持のため自社製品の購入を強要しないよう徹底している。																		10			16																		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当者・責任者を任命している。																					16																		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する研修を行っている。								8.2	8.3	9																													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		研修会を行い情報漏洩防止を徹底している。																					16																		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的にCS調査を行い現状把握・改善に努め、それらを社内共有している。																				16	17																		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17																				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11			13.1				16	17																		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17																		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●											1	2											8						12	13	14	15	16	17							
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則でハラスメント防止規定を定め、相談窓口を常に男女1名ずつ任命している。				4.3	5.1			8.5												16.1						16.2			16.7										
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		店舗毎の「安全運転管理者」が主体となり自動車業界に携わる者として交通ルールを遵守するよう交通安全の呼びかけ。 産業医の職場点検を定期的実施し、安全な職場の管理・維持。 グループ内で起きた労働災害は再発防止に向け社内共有している。									8.8																														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金ガイドラインに沿い不合理な待遇など無いか、社労士も交え検証対応を行っている。					5.5				8.5																			10.2			10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		家庭と仕事の両立の為、定休日とは別に個人希望休、有給休暇の中で特に週末を休むよう推奨している。 定期的な残業チェックを推奨し、特定の人に残業が偏らないよう人員配置や、仕事の配分を常時見直している。									8.5																			10.2			10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職種や年次等に応じた適切な社内外的研修や、資格取得の補助などを行っている。					4	5.5			8	9																													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断に基づき再検査の受診率の向上、歯科検診率の向上に取り組んでいる。										8																			17										
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性管理職育成、育休・産休の薦め。育休復帰後子育てとの両立の為時短就業の薦め。 障害者雇用については常時募集をかけている。				4.4	5.1	5.5			8.5																				10.2			10.3	16.7						
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		リモート会議システムの導入。										3											8	9.1								11			12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		社内SNSを導入しコミュニケーションネットワーク構築。																						8	9.1								11			12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業認定。																																8			9				

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	廃棄物は適切に分別し、処理業者に回収を委託している。			3.9						11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	毎月の電力使用量及び、前年比を把握し、店舗毎に削減に取り組んでいる。(物理的にはLED化や省電力商品に代替促進)												13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	【予定】今年度中に簡易計算シートを用いCO2排出量を把握し、排出の抑制に取り組む。			2.4									12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	油水分離槽を設置し定期的な水質検査を実施している。														14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	交換済の部品等のリサイクル。(バッテリーやバンパーなど)ペーパーレス化の推進、再生紙・裏紙の利用。							9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	節水の推進、井戸水の活用。			2.4									11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	再生紙、FSC認証用紙を購入。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	【予定】会食時のフードロス対応の為【3010運動】を社員に展開。2021年11月から展開	1	2												12.3		14	15	17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15	17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●																13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●																	15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																	15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																	13.1 13.3		
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																		17.17		

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	商品の不具合が発生した場合は迅速に市場情報をメーカーに報告。安全装置搭載車やエコカーの普及推進。			3.9						9					12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	お客様駐車場を広めに設置、障害者用の駐車場も設けている。多目的トイレ・授乳室の設置。									9.1	10	11.7								17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7							12.2	13.1				15	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・地域活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	組合活動の一環で障害者向けのボランティア活動。災害時に使用可能な店舗(トイレ等)の地域住民への貸し出し。熊本市と【電気自動車を活用した持続可能なまちづくりに関する連携協定書】他2者含む、合志市と【電気自動車を活用した災害連携協定】他2者含む、菊陽町と【電気自動車EVタクシーを電力源として活用した、全国初の災害連携協定】他4者含む、荒尾市と【電気自動車を活用したSDGs達成に向けた連携協定】他3者含む、を締結済。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	災害時に備えハザードマップを踏まえた火災・地震保険の加入。防災備蓄品の常備。				4								11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9			11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	小・中・高校生、専門学校、大学等からの職場見学・インターンシップを積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●					4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具否的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。